

うめナビ

2013.10
Vol.19

ハイスピード・ハイクオリティ こだわり抜いた誌面づくりで スポーツ界を盛り上げる

スポーツ関連雑誌・書籍を出版するベースボール・マガジン社（千代田区三崎町、池田哲雄社長、03・3238・0081）が、野球専門誌『週刊ベースボール』を発売したのは昭和33年。5月に国民栄誉賞を受賞した長嶋茂雄氏がプロデビューした年である。この雑誌をバイブルにしていた野球少年も多いだろう。発行して55年経った今でも幅広い野球ファンから絶大な支持を得る同誌は、まさに日本の野球界とともに歩み、我が国のスポーツシーンを盛り上げてきたと言える。

「質の高いもの、求められているものを、どこよりも早く、手の届くところへ供給すること」が同社のモットーであると池田社長は話す。読者がいま何を求めているのかを想像し、それを的確に活字で表現する力も不可欠である。「将来の夢はプロ野球選手」と少年時代に思い描いていた人は少なくない。スポーツ界は「夢」であり、「ロマン」である。その世界観を表現するために、同社の編集者は各々人生を懸けて読者に伝えるという。



クオリティの高い雑誌を素早く発行

ベースボールマガジン社



池田哲雄社長

『ベースボールマガジン』を礎にして、スポーツ界のドラマをリアルタイムに刻んできた同社。その重みを受け継ぎ、これからもスポーツを通じて新たな歴史を紡ぎ、世代をつないでいく。

『週刊ベースボール』では、たとえば他誌で取り上げられない選手も掲載していきたいと小林編集長は力をこめる。時間や枠の限られたテレビやインターネットでは、有名選手やその日の主役にしかスポットライトが当たらない。しかしその陰では、主役を支えている選手が必ずいる。他誌に負けないスピードと読者のニーズを把握している同社ならではのこだわりが常に実践され、各誌面からあふれている。

戦後まもなく創刊した月刊『ベースボールマガジン』を礎にして、スポーツ界の

心温まる手作りイベントに 多くの人が集う ライラックの香る商店街

久が原銀座商店街振興組合（大田区久が原、遠藤孝一理事長、03・3752・3627）が運営する「ライラック通り久が原」は、大田区の西部、東急池上線の久が原駅前から拡がる地域に密着した商店街である。

現在は賑やかなこの地域も、昭和初期の頃は、一面畑や樹木で、狐や狸も姿を見せるような場所だった。10店舗で商店街が創設された昭和8年以降、次第に店舗数も増加し、昭和44年には、法人格を持つ商店街となり、平成5年、街路灯のステンレス化や道路のカラー舗装、歩道を拡張して絵タイルを埋めこむ等の大幅なリフレッシュ事業を実施して、より多くの人が楽しく安全に利用できる商店街に生まれ変わった。

リフレッシュ事業の際、一般募集をして決定した「ライラック通り久が原」という愛称は、今ではすっかり地域に定着している。同組合では年に数回、地域に住まいの方々が楽しめるイベントを企画・運営しており、その象徴的なものが、毎年5月に開催している「ライラック祭り」である。組合員同士が創意工夫を凝らした手作り企画や、さまざまな出店が盛り上げ、



ライラック祭りの様子

久が原銀座商店街振興組合



遠藤理事長と事務局の池上さん

が創意工夫を凝らした手作り企画や、さまざまな出店が盛り上げ、

「ライラック祭り」は、組合員同士が創意工夫を凝らした手作り企画や、さまざまな出店が盛り上げ、ライラックの香る優雅な街でゆっくりとお買い物を楽しんでいただければ」と遠藤理事長は抱負を語る。商店街で開催されるイベントの詳しい情報は、同組合ホームページにて！
(<http://www.lilac-ave.com/>)

<p>会社 12先</p>	<p>スーパー・小売・百貨店 24先</p>	<p>メーカー 18先</p>	<p>マスコミ 59先</p>	<p>教育(大学・専門学校) 30先</p>	<p>公共機関 15先</p>	<p>ホテル 14先</p>	<p>金融 33先</p>	<p>建設関連 20先</p>	<p>システム関連 11先</p>	<p>その他 73先</p>	<p>合計 309先</p>
-------------------	----------------------------	---------------------	---------------------	----------------------------	---------------------	--------------------	-------------------	---------------------	-----------------------	--------------------	---------------------------

※本誌は、城南信用金庫のお取引先に配布する他、商社、百貨店、スーパー、メーカー、マスコミ、大学等にもお届けしています。

地元のお客様へ、金色に輝く美味しいうまさを 鶴見駅前をお洒落に彩る イタリアンダイニング

金色の午後

くれる。

『不思議の国のアリス』作者ルイス・キャロルが綴る日記の冒頭「すべてが金色の午後のこと」。子供たちと遊んだ午後をそう振り返ったキャロルのように、「ご来店いただいたすべてのお客様から「輝ける一日だった」と思い返してもらえるお店にしたい」。『金色の午後』（横浜市鶴見区鶴見中央、塩田真人オーナー、050・5798・6152）という店名にはそんな塩田オーナーの想いがこめられ、シェフ、スタッフにも徹底されている。

元来、鶴見駅前は労働者対象の飲み屋ばかりで、地元の人ほかの町へ食事をしに行くことが多かった。そこでオーナーは、「ヨーロッパの旧市街にあるレストランのような、観光客ではなく地元で暮らす人たちと共存共栄すること」をコンセプトに店づくりをした。鶴見駅の線路沿いという立地ながら、自然木を活かした内装や可愛らしいテラスも喧騒を忘れさせてくれる。

地元の食材にこだわったヘルシーで野菜中心のメニューを揃え、特に「神奈川県産やまゆり豚のロースステーキ バルサミコジン ジャーソースたっぷり野菜を添えて」、「二日の野菜が摂れるバーニャウダ」などがお薦め。忙しい方にも、美味しく健康的なもの食べてもらいたい、とのこと。



一番人気! 神奈川県産やまゆり豚のロースステーキ



毎日をもっと楽しく! 自由が丘の欧米型 会員制スポーツクラブ

リバティヒルクラブ



プライベートビーチをイメージしたアクアエリア

リバティヒルクラブ(目黒区八雲、栗山雅則社長、03・5731・5731)は、「CLUB as HOME(クラブという我家へいえ)」をコンセプトに掲げた地域密着の欧米型会員制スポーツクラブである。

平成12年7月にオープンして以来、従来のスポーツクラブに留まらない新しい形のクラブを追求して、上質で多彩なサービスを展開している。

フィットネスやパーソナルトレーニング、レベルに合わせたクラス別のテニスレッスン、ゴルフのプライベートレッスン等の週60本におよぶ充実したプログラムをはじめ、ダンスやフランス語・英会話・コントラクトブリッジのカルチャークラスなど、豊富なレッスンが用意されている。

最新設備が揃う広々としたジムには、トップアスリート用に開発されたストレッチマシン「ボディメトリクス」を先駆けて導入。アン



上質でゆったりとしたラウンジで寛ぐひととき

食卓の笑顔をつくる隠れたエッセンス 安心でちよつとユニークな 香料・食品素材をご提供

日東香料

日東香料(目黒区五本木、今井清社長、03・3715・3442)は、昭和44年に先代の今井惣寿氏が創業した香料メーカーである。香料には大きく分けて天然香料と合成香料があり、複数の香料を独自の配合率で調合することによって新たな香りをつくりだすことができる。同社は40年以上のノウハウの蓄積によって開発された独自の調合香料を多数保有しており、これが同社の大きな強みとなっている。

香料の用途は多岐に亘る。食品に使用される「フレーバー」は実際の食品の香りをベースに創造したもので、菓子・飲料・パン・加工食品などに広く使われ、製造後長時間経っても新鮮な香りを保つ等、商品開発上欠かせないのでない原料となっている。一方、シャンプー、洗剤、芳香剤、香水などに使われる香料は総称して「フレグランス」といい、天然には存在しない空想上の香りをつくりだすこともある。これらの香りをつくりだす人のことを「調香師」といい、香料の世界ではフレーバーの調香師を「フレーバリスト」、フレグランスの調香師を「パフューマー」という。

同社はフレーバー、フレグランス双方の調香が可能であり、顧客の要望に合わせた繊細な調香と、小ロット・短納期対応、確かな実績とノウハウによって支持を得てきた。付随サービスとして始めた香料以外の食品添加物や機能性食品素材の卸売も好調で、大手食品メーカーから小規模メーカーまで幅広い客層に対応している。一般にはなかなか知られることのない業態だが、皆さんも知らず知らずのうちに、同社の香りにふれていくかもしれない。

詳しくはホームページにて
(http://nitokoryo.com/)



フレーバーを使った食品の数々



繊細な香りを生み出すフレグランス

お客様との絆を大切に... 思い出に残る一日を！ 自分スタイルの旅を楽しもう

南東京自動車

南東京自動車(座間市相武台、大木克之社長、046・251・7000、http://members2.jcom.home.ne.jp/s_tbus/)は昭和63年の設立当初はレンタカーメインであったが、現在は旅行業第三種、一般貸切旅客自動車運送業を営む。友人同士の旅行・商店街のツアー・修学旅行など幅広く対応し、自分スタイルの旅行プランを提供している。

旅行業界の現況は非常に厳しい。価格競争による減益、それに伴うサービスの低下などさまざまな問題を抱えた他社が経営に苦しむ中、同社は設立以来広告に頼らず、お客様の口コミおよびリピーターにより、今日まで25年以上の業歴を重ねている。「お客様の思い出に残る旅行を提供したい。お客様のためにできることは何でもしたい。大手にできない細かいニーズに応え続けられれば、自然にお客様から紹介が来て、営業する時間が不要になってしまうですよ」と、大木社長はお客様からの手紙を見せられた。



平成23年3月11日、誰もが忘れることのできない東日本大震災。ゼミ旅行で何度も利用していただいている川嶋舟氏(東京農業大学農学部バイオセラピー学科動物介在療法学研究室講



大木克之社長

師、秋篠宮妃紀子様の実弟である)より、帰省先の福島県相馬市から連絡が来た。「被災地に救援物資を届けたい。手伝ってほしい!」放射能汚染を心配する声をよそに、大木社長の気持ちは決まっていた。車輛規制で一般車輛は被災地に行けないため、川嶋氏の計らいで緊急車輛として3月13日には物資を運びこんだ。それ以来、約2カ月で20回以上物資を輸送した。当時は振り返って「放射能なんて、そんなことを考えている時間はない。行動しなければ!困っている人がいるんだ。同じ人として当たり前じゃないか!」と熱く語る姿に、社長の人柄が滲む。人との「絆」を何よりも大切にしている南東京自動車では、是非一度自分スタイルの旅行をお楽しみください!

コーヒーでワンランク上のライフスタイル 飲んで元気になれる コーヒースタンドをめざして

WOODBERRY COFFEE ROASTERS

WOODBERRY COFFEE ROASTERS(世田谷区玉川台、木原武蔵店主、03・6447・9218)は、東急田園都市線用賀駅から徒歩1分と、好アクセスのコーヒー専門店である。

木原店主は、米国の大学で経営学を修める傍ら、アメリカ人の生活スタイルには欠かせない「コーヒーを飲む」文化に強く影響を受けた。そしてかねてより抱いていた「自分の店を持ちたい」という夢



気軽に足を運べる、親しみやすい店先



カウンターに並んだコーヒーの香りが心地よい

のために、帰国後都内のコーヒー店での修業を経て昨年6月、21歳という若さで地元用賀にてコーヒー店を開店した。

店内で使用している「スペシャルティコーヒー」は、豆の中でも品質において上位約5%に入る特別な生豆であり、風味を損なわないよう1杯ずつ自店舗内にある焙煎機でローストしている。手間をかけていながら、300円前後とお手頃価格、豆の種類も複数用意して、お客様の好みに応じたコーヒーを提供している。また、焙煎したての豆を購入することもできる。

そのほかにも、10時~19時の営業時間終了後、コーヒーの抽出器具の取扱いや美味しい淹れ方などを学ぶワークショップ(週1回、1時間程度)を開いたり、ブログで新しいコーヒー豆入荷など季節の情報を告知したり、コーヒーを通じてワンランク上のライフスタイルを提案し、コーヒー文化の普及にも力を入れている。

木原店主は、「心の栄養補給ができるコーヒー店(スタンド)にしていきたい」と理想の店のイメージを語る。その思いが徐々に伝わってきたのか、最近では1日に2度3度と来店する常連客が増えてきた。ビジネス、ショッピング、次の予定の合間に、WOODBERRY COFFEEで元気をつけて!地元の方ももちろんのこと、用賀にお越しの際は是非お気軽に立ち寄っていただきたい。

来店客一人ひとりにアドバイス ビューティーライフを メイキング

ビューティライフ ジントク

平成6年に創業したビューティライフジントク(川崎市中原区上小田中、高野祥二社長、044・766・4709)は、婦人用化粧品販売とともに美容カウンスリング、エステも行う会社である。

最近、大手ドラッグストアの店頭で大量に並んだ化粧品が目撃引くが、同社の取扱商品はそのらとは一線を画し、美容液、スキンケア商品など一点一点、気軽にプロのアドバイスを受けながら購入できることが特長である。また、店内にはエステの設備が4台常備されている。40分間のプレミアム美容エステ体験では、専用のスキンケア商品と、超音波・LED・うるおいサポート・温熱・冷却と5つの機能を持つ独自開発の美容機器で、理想の美顔へとトータルアプローチする。

同社は、顔の印象を豊かにする一番のポイントは「眉」である、というコンセプトから、眉メイクの



プロの確かな技術を体感



JR南武線武蔵中原駅から徒歩1分とアクセスも良好

サポートにも力を入れている。プロの指導員に40分間のマンツーマンレッスンを受け、誰でも簡単にキレイになれるコツをマスターできるプログラムも好評だ。こういつたエステやマンツーマンレッスンは、初めての方には敷居が高いようにも思えるが、実際はいつも地元のお客様で賑わい、立ち寄りやすい雰囲気だ。「地元のお客様に気軽にプロのお手入れを体験していただき、短時間で効果を実感していただきたい」をモットーに、スタッフ皆で技術を磨き、お客様の笑顔や「ありがとう」の言葉を楽しみに、日々接客している」と高野社長は話す。あなたもお気軽に、普段着のまままで訪ねてみてはいかが? ご予約など、詳しくはホームページにて (<http://www.shiseido.co.jp/sw/navi/shopdetail.html?shopCd=342266>)

EPS工法で素敵なお庭づくりをサポート いつも「ありがとう」と 絆をつなぐ人間企業をめざして

堅昇土建

今年10周年を迎える堅昇土建(海老名市国分北、見上健一社長、046・2333・7798、http://www.kensyo.info)は、土木工事を中心に公共工事も手がけ、特に庭づくりには定評がある。

東日本大震災のわずか2週間後には重機やトラックを持参し、社員を引連れ宮城県亘理町ボランティアセンターと協力して瓦礫処理を行った。また、社員自ら制作した絵本を被災地の保育園に寄付するなど、支援活動を継続している。「自分たちの技術が必ず役に立つはず」との使命感から、自然と行動していた」と当時を振り返り、「被災地の方々から逆に元気をもらいました。つながりを大切にしたい」と語る見上社長の言葉が温かい。

衣食住の中心となる住まいだから、見知らぬ人にも「素敵なお庭です」と声をかけてもらえるような庭づくりを、専門分野からお手伝いしたいという想いで発足した同社。EPS工法を使用した庭づくりを提案している。この工法は



EPS工法の施工事例(見た目は完全に重たいブロック塀!?)



自慢のスタッフたちと見上社長(右)

コンクリートブロックと違い、芯材にEPS発泡スチロールを使用するので加工しやすく、イメージに忠実で自由な造形が可能となる上、強度は従来のコンクリートと変わらず、耐久性に優れる。軽量なので、万が一塀が倒壊しても二次災害を防止できる、人に優しいブロックである。

自宅建築の際は、庭までなかなか頭も予算も回らないが、庭を特別な空間と考える社長は、焦らずにまずは相談してほしいという。「堅昇」とは、堅実に仕事をこなし、昇つて(成長して)行くという意味で、計画・施工・アフターサービスまで責任を持ってお客様をアシスタントする意志をこめる。それを支えているのが、社長自慢の社員たち。「何にでも一生懸命で、深い絆でつながった仲間。今後も顔の見える仕事にこだわり、夢のある「人間企業」をめざします」と熱く語ってくれた。

業界初! 想いが詰まった家具と 人命をつなぐ 「家具転倒防止自在L字金具」

家具の和田屋

家具の和田屋(品川区大井、長張勉代表、03・3775・7531)は、創業者である父の代から家具の販売、修理、設置を行い、昭和30年から約55年にわたり、街の家具屋として日夜営業している。

家具の和田屋から、今年、業界初の商品が研究開発された。それが「家具転倒防止自在L字金具」である。商品の特長は、L字金具の支点2点を軸にL字が自在に動き、家具の芯材と家の柱の芯材とを的確に固定できる点だ。家具と柱を留める位置は必ずL字になっているわけではない。阪神淡路大震災以降、巨大地震に備え、お客様から家具の転倒防止金具を設置する依頼が殺到したが、従来のL字金具を芯材に合わせて曲げる等の工夫をしてつなぎ留めた。しかし、東日本大震災の発生後、設置したL字金具はぐにやぐにやに折れ曲がっていた。



「家具転倒防止自在L字金具」1本780円(税別)

く中、支点を固定して動く蛇のおもちゃを見た。「これだ!」浮かんだアイデアを元に、支点2点を軸に動くL字金具を開発した。今年に入り実用新案権も取得。誰でも的確に固定できるようにネジ山の崩れにくい、ドリルビスを採用した。

「阪神淡路大震災発生時、タンスの下敷きになったり、倒れたタンスが出入り口を塞ぎ、火災に巻きこまれたりして命を落とす人が多数出た。ニュースで瓦礫の中タンスを蹴っている人の映像を見たとき、家族と思いの出を重ねた家具が悲しい出来事の原因となつてはならないと思った。そんな想いの結集した商品がこのL字金具。大規模地震発生時、絶対に家具が倒れないという保証はできないが、従来のL字金具より避難する時間を長く確保することはできる」と長張代表は話す。



長張勉代表

何とかならないのか。知り合いのメーカーに相談を持ちかけた。強度を追求すると鉄板が厚くなり、固定するネジも太く家具を壊してしまう。試行錯誤の日々が続いた。

海から見るもつひとつの東京 江戸っ子の愛した 粋な船遊び

船宿かみや

船宿かみや(大田区羽田、神谷貴之社長、TEL03・3742・6904、FAX03・3744・2942)は、最新設備を搭載した屋形船、船釣り、仕立船を運航している。四季折々の食材にこだわって、豪華な舟盛り刺身盛り合せや、旬の味覚を楽しめる炊き込みご飯、船内で揚げたての江戸前天ぷら等を提供する。

最大のセールスポイントは、360度パノラマの夜景に囲まれていつもより贅沢に宴を楽しめる点だ。海上だから、周囲を気にせずわいわい盛り上がり、全船がスカイデッキのある大型屋形船で揺れも少なく、酔いが心配な方も大丈夫。また、冷暖房、水洗トイレを完備しており、船の上であることを忘れて快適に過ごすことができる。オールシーズン運行し、JR蒲田駅からの送迎バスサービスもある。羽田船宿棧橋のほか、晴海やパレットタウン、隅田川吾妻橋の乗船場からも利用可能だ。

周遊コースは、東京ベイコース、横浜ベイコース、花火大会観覧コース、そして大好評のスカイツリーコース。グレイドの高いイルミネーション付屋形船が隅田川を上り、それぞれ個性ある14橋をくぐり、スカイツリーの真下に停泊するため、ライトアップされたスカイツリーを水面から間近に見ることができ。春はお花見、秋はお月見と、楽しみ方もさまざま。貸切は15名から80名まで受け付けているが、2名より予約がで



羽田船宿棧橋乗船場



人気のスカイツリーコース

きる乗合屋形船もあり、女子会やカップル、家族連れに好評である。カラオケ歌い放題、飲み放題で7350円からとリーズナブルに宴会を楽しめ、さらに飲食物持込可能なので忘年会時期にもオススメ。法事や、クラス会、結婚式二次会等の各種パーティーにも幅広くご利用いただきたい。屋形船以外にも、昼食時に船長が天ぷらを揚げしてくれる「天ぷら船」もある。興味のある方はホームページにて